

### Ⅲ 平成28年度研究発表業績

#### 1 論文・報告書等

#### 豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮

##### 森林の公益的機能の発揮のための研究開発

- 1 長坂晶子 2017年2月 漁業者へのアンケート調査から森と海の関係を探るー漁業者の漁場環境の変化に対する認識と漁獲統計の対応ー. 水利科学 353:p40-67
- 2 長坂晶子 2017年3月 風蓮湖流入河川流域とは 風蓮湖流域の再生 第1章:p1-17.
- 3 長坂晶子・長坂 有 2017年3月 地域住民の環の再生 風蓮湖流域の再生 第5章:p157-215.
- 4 長坂晶子 2017年3月 風蓮湖流域のプロジェクトを振り返って 風蓮湖流域の再生 第6章:p217-246.
- 5 岩崎健太、佐藤 創、真坂一彦、鳥田宏行、山川陽祐、小杉賢一朗 2016年12月 土壌水分計付貫入計を用いた海岸林の植栽基盤の評価ー北海道長万部町の事例ー 海岸林学会誌 15:39-43
- 6 岩崎健太、鳥田宏行 2017年3月 防風林による地温上昇効果ー日高地域の飼料用トウモロコシ圃場における事例ー 光珠内季報 182:11-14
- 7 真坂一彦 2016年5月 養蜂業における北海道の森林蜜源の利用実態と将来展望 農業および園芸 91: 518～533
- 8 真坂一彦 2016年12月 日高・胆振沿岸域において2013年に発生したクロマツ樹冠の赤変とその原因 光珠内季報 180:1～4
- 9 阿部友幸 2017年2月 水土保全に配慮した林業を ～浸透能のはなし～ 光珠内季報 181:1～4
- 10 佐藤孝弘 2017年2月 「障がい者の利用」を視点とした森林公園の路網状況の評価 光珠内季報 181:5-10

##### 生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発

- 11 佐藤創、田中規夫、鳥田宏之、真坂一彦、阿部友幸、岩崎健太、佐藤弘和 2017年2月 L2津波によるカシワおよびグイマツの被害パターン 北方森林研究 65:75～78
- 12 佐藤創、鳥田宏之、真坂一彦、田中規夫、野口宏典 2017年3月 海岸防災林の津波減衰機能を発揮させる林帯整備・管理方法の開発 公立林業試験研究機関 研究成果選集 14:1～2
- 13 五十嵐善哉、君和田祐弥、赤崎佑太、田中規夫、佐藤創、鳥田宏行 2017年3月 津波規模が海岸樹木破壊形態に及ぼす影響の樹種による相違 土木学会関東支部発表会Ⅱー7(CD-ROM) 71,2:I\_307-I\_312
- 14 阿部友幸、立木佑弥、今 博計、長坂晶子、小野寺賢介、南野一博、韓慶民、佐竹暁子 2016年8月 Parameterisation and validation of a resource budget model for masting using spatiotemporal flowering data of individual trees Ecology Letters 19:1129～1139
- 15 Bayandala, Masaka K, Seiwa K 2016年 Leaf disease drive the Janzen-Connell mechanism regardless of light condition: a 3-year field study. Oecologia 183:191～199
- 16 新田紀敏、明石信廣 2017年3月 ネイチワラビの発見 北方山草 34:75-76
- 17 新田紀敏 2017年3月 美唄湿原の植物相 旭川市北邦野草園研究報告 5:37-45
- 18 雲野明 2017年3月 クマゲラとオオアカゲラの冬期の採餌痕を識別する 森林保護 345:1-3
- 19 雲野明 2016年12月 クマゲラの生息を確認する方法 光珠内季報 180:5-8
- 20 雲野明 2016年10月 降雪期におけるクマゲラとオオアカゲラの採餌痕の比較と識別 日本鳥学会誌 65:143-152
- 21 佐藤弘和・佐藤孝弘・真坂一彦・山田健四 2016年12月 農業で働くミツバチ、そしてニセアカシアとのつながりー聞き取り調査から分かることー 光珠内季報 180:9-15
- 22 福地 稔 2017年3月 ドマツ人工林の間伐後に更新した広葉樹の成長 光珠内季報 182:1-5

#### 生活環境の向上のためのみどり資源の活用

##### 身近なみどり資源の活用のための研究開発

- 23 錦織正智 脇田陽一 2016年11月 組織培養によるクローン苗木の生産と利用ー北海道における事例ー 日本生物工学会「地方創生に関わる生物工学のとらえ方ー日本各地の活動とネットワークの必要性ー」 18～20

#### 森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興

資源管理の高度化のための研究開発

- 24 北海道立総合研究機構 2017年3月 成熟化するトマツ人工林材の用途適性評価と利用技術開発 平成26~28年重点研究報告書 77pp
- 25 飯島勇人、明石信廣、日野貴文、安藤正規 2016年5月 森林におけるシカ問題を解決するための知見の集積 森林技術 890:26-27
- 26 明石信廣、雲野 明、渡辺一郎、大野泰之、長坂晶子、長坂 有、山浦悠一、尾崎研一 2016年6月 木材生産と公益的機能の両立を目指した保残伐施業の実証実験 光珠内季報 179:9
- 27 明石信廣、雲野 明、対馬俊之、渡辺一郎、大野泰之、長坂晶子、長坂 有、山浦悠一、尾崎研一 2016年7月 木材生産と公益的機能の両立を目指した保残伐施業の実証実験 平成27年度北の国・森林づくり技術交流発表集 184-187
- 28 明石信廣 2017年2月 森林におけるエゾシカの影響を把握する 森林科学 79:14-17
- 29 明石信廣、対馬俊之、雲野 明、長坂晶子、長坂 有、大野泰之、新田紀敏、渡辺一郎、南野一博、山田健四、石濱宣夫、滝谷美香、津田高明、竹内史郎、石塚 航、福地 稔、山浦悠一、尾崎研一、弘中 豊、稻荷尚記 2017年3月 トマツ人工林における保残伐施業の実証実験(REFRESH)における実験区の伐採前の林分組成 北林試研報 54:31-45
- 30 Uno, H., Ueno, M., Inatomi, Y., Osa, Y., Akashi, N., Unno, A., Minamino, K. 2017年3月 Estimation of population density for sika deer (*Cervus nippon*) using distance sampling in the forested habitats of Hokkaido, Japan. *Mammal Study* 42:57-64
- 31 中川昌彦 2017年2月 広葉樹にカラマツが被圧されている天然更新地における中段刈りの効果ー上川町における一例ー 北方森林研究 65:81~83
- 32 中川昌彦 2017年3月 カラマツの天然更新地が広葉樹林化、混交林化しやすい原因の推定 北林試研報 54:19~22
- 33 中川昌彦 2016年6月 トマツ人工林に天然更新している稚樹は皆伐したら育つか? 光珠内季報 179:11
- 34 中川昌彦 2016年10月 皆伐で天然更新したトマツ稚幼樹の成長を促すことに成功 グリーンピックス 53:1
- 35 大野泰之・福地 稔 2017年3月 カラマツ人工林の単木管理手法 山づくり 488:2~3
- 36 大野泰之 2016年10月 「カラマツ将来木施業導入支援ツール」を使ってみよう! グリーンピックス No53
- 37 渡辺一郎 2017年3月 欧州製ハーベスタの実力は!? グリーンピックス No.54
- 38 佐藤弘和、山田 健、佐々木尚三、岩崎健太 2017年3月 過去に使った森林作業道の再利用ー道路の締固めは重要ですー 光珠内季報 182:6-10
- 39 今 博計 2016年7月 地域林業の活性化に向けた特定母樹クリーンラーチ(ゲイマツ雑種F1)増殖促進の取り組み 山林 1586(7):27~32
- 40 今 博計 2016年12月 成果をユーザーに届ける 森林遺伝育種 5:39
- 41 今 博計、来田和人、石塚 航、黒丸 亮 2016年12月 各都道府県の林業・林産業と遺伝育種の関わり(7) 森林遺伝育種 5:230~234
- 42 今 博計、来田和人、石塚 航、黒丸 亮 2016年8月 気象データを利用したカラマツ採種園の適地評価 北海道の林木育種 59(1):11~13
- 43 黒丸 亮 2017年3月 北海道の林木育種における先人達からのメッセージー採種園の造成・施業と球果採取ー 北海道の林木育種 59(2):10~14
- 44 石塚 航、矢野慶介 2017年3月 国際会議Abies 2016の開催 北海道の林木育種 59(2):1~6
- 45 石塚 航 2016年10月 長期移植試験が語る北方針葉樹トマツの局所適応 森林科学 78:32~35
- 46 石塚 航 2017年3月 北海道内のゲイマツの遺伝資源情報 北海道林業試験場研究報告 54:23~29
- 47 来田和人、今 博計、石塚 航、黒丸 亮 2017年2月 北海道内4か所に造成したクリーンラーチ植栽試験地における5年生までの成長 北方森林研究 65:47~50
- 48 対馬俊之、蓮井聡、渡辺一郎、津田高明 2016年10月 保残伐施業におけるフォワーダ集材作業の実証的研究 機械化林業 755:1~8
- 49 寺田文子・津田高明・八坂通泰 2017年3月 衛星画像による林況把握方法 グリーンピックス 54:2~3
- 50 八坂通泰 2017年2月 カラマツ人工林収穫予想ソフトのバージョンアップ グリーンピックス No.54
- 51 八坂通泰、津田高明、寺田文子 2016年5月 道南スギにおける径級別丸太供給量の将来予測 山づくり 483:2-3

林業経営の持続的な発展のための研究開発

- 52 北海道立総合研究機構・酪農学園大学 2017年3月 重点研究 森林管理と連携したエゾシカの個体数管理手法に関する研究報告書 150pp
- 53 北海道立総合研究機構・酪農学園大学 2017年1月 森林管理者のためのエゾシカ捕獲の手引き 34pp
- 54 北海道立総合研究機構 2017年3月 森林管理者のためのエゾシカ調査の手引き 46pp
- 55 南野一博、明石信廣 2016年10月 森林被害防止のためのエゾシカ捕獲 北方林業 67:89-93
- 56 Hara, H. 2016年6月 The North African sawfly genus *Prionomeion* (Hymenoptera, Diprionidae), with a key to the Palearctic genera of the subfamily Diprioninae *Zootaxa* 4127 (3): 537–552
- 57 Hara, H. 2016年11月 Larva of *Megabeleses crassitarsis* (Hymenoptera: Tenthredinidae) infesting *Magnolia* *Japanese Journal of Systematic Entomology* 22 (2): 149–153
- 58 Shinohara, A., Hara, H., Kramp, K., Blank, S. M. & Kameda, Y. 2017年1月 Bird droppings on chestnut leaves or sawfly larvae: DNA barcodes verify the occurrence of the archaic *Megaxyela togashii* (Hymenoptera, Xyelidae) in Hokkaido, Japan *Zootaxa* 4221 (2): 220–232
- 59 Hara, H. & Shinohara, A. 2017年2月 Taxonomic notes and new distribution and host plant records for sawflies and woodwasps (Hymenoptera, Symphyta) of Japan II *Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A* 43(1): 53–69
- 60 中田圭亮、雲野 明 2016年12月 最近の森林施業の動向からネズミ対策として生態的防除を考える 森林保護 344:25-27
- 61 中田圭亮、明石信廣、雲野 明 2017年3月 2016年のエゾヤチネズミの発生状況と前年度までの被害状況 森林保護 345:3-4
- 62 中田圭亮、対馬俊之、南野一博 2017年3月 リン化亜鉛殺そ剤のカラマツとドマツに対する薬害試験 北林試研報 54:9-17
- 63 明石信廣 2016年10月 森林におけるエゾシカ被害対策のあゆみ 北方林業 67:81-84
- 64 永田純子、明石信廣、小泉 透 2016年12月 シンポジウム:シカと森林の管理 哺乳類科学 56:215-224
- 65 明石信廣、長池卓男 2016年12月 シカと森林の持続的な管理に向けて一赤谷プロジェクトと占冠村の事例一 哺乳類科学 56:225-231
- 66 南野一博、雲野 明、明石信廣 2017年3月 エゾシカ低密度地域におけるライトランセクト法及びカメラトラップ法による生息密度指標の評価 北林試研報 54:1-8
- 67 小野寺賢介・徳田佐和子 2016年9月 カラマツヤツバキクイムシのモニタリングのためのフェロモントラップの開発 山づくり 485:4-5
- 68 小野寺賢介・徳田佐和子 2016年10月 大きさによって分類した樹洞の発生確率の推定 北方林業 67:29-33
- 69 小野寺賢介・徳田佐和子 2016年9月 カラマツハラアカハバチ被害の現状と将来の展望 森林保護 343:17-19
- 70 Onodera K, Tokuda S, Hirano Y, Yamamoto S 2017年2月 Vertical distribution of saproxylic beetles within snag trunks retained in plantation forests *Journal of Insect Conservation* 21:7-14
- 71 林業試験場 2016年7月 獣害防止ネットにおける耐積雪性に関する研究 25pp
- 72 津田高明・八坂通泰 2016年10月 道南スギの供給可能量と今後の丸太径級を予測しました グリーンピックアップ 53:2~3
- 73 来田和人、山田健四、滝谷美香 2016年8月 グイマツ雑種F1の成長と低密度植栽 北方林業 67:48~52
- 74 Eugenios Agathokleous, Amelie Vanderstock, Kazuhito Kita, Takayoshi Koike 2017年3月 Stem and crown growth of Japanese larch and its hybrid F1 grown in two soils and exposed to two free-air O3 regimes *Environ Sci Pollut Res* 24:6634~6647
- 75 原山尚徳、来田和人、今 博計、石塚 航、飛田博順、宇都木玄 2016年10月 異なる時期に植栽したカラマツコンテナ苗の生存率、成長および生理生態特性 *日本森林学会誌* 98:158~166
- 76 壁谷 大介、宇都木 玄、来田 和人、小倉 晃、渡辺 直史、藤本 浩平、山崎 真、屋代 忠幸、梶本 卓也、田中 浩 2016年12月 複数試験地データからみたコンテナ苗の植栽後の活着および成長特性 *日本森林学会誌* 98:214~222

## 2 学会における口頭・ポスター発表等

## 豊かな道民生活のための森林機能の高度発揮

## 森林の公益的機能の発揮のための研究開発

- 77 長坂晶子 2016年4月 森里川海の物質の環・地域住民の環の再生を考えるー北海道東部・風蓮川流域における事例よりー 平成28年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 78 長坂 有、長坂晶子、速水将人、石川 靖 2016年11月 ドマツ人工林の保残伐施業地(REFRESH)における伐採後の水質変化 第65回北方森林学会
- 79 長坂晶子、長坂有、石川 靖 2016年3月 異なる森林タイプが渓流水DOC- NO<sub>3</sub>-濃度比に及ぼす影響 第64回日本生態学会大会
- 80 小野 理、福田陽一郎、長坂晶子 2016年3月 ドマツ人工林への広葉樹の侵入量規定要因 第64回日本生態学会大会
- 81 長坂晶子 2016年3月 風蓮湖流入河川の流域管理に際して低投入型酪農に期待すること 2017年度日本草地学会企画シンポジウム「北の大地の低投入型酪農の可能性とその効果」
- 82 長坂晶子 2016年3月 流域住民は『森川里海のつながり』を実感しているか？ー聞き取り調査とアンケートからみえる自然認識ー 平成29年度日本水産学会春季大会シンポジウム「森川里海のつながりを科学で説明できるか？」
- 83 長坂晶子、長坂 有、速水将人 2016年3月 ドマツ人工林を主体とした小流域における伐採前後の流出量の変化 第128回日本森林学会大会
- 84 長坂 有、長坂晶子、速水将人、石川 靖 2016年3月 ドマツ人工林の保残伐施業試験地(REFRESH)における伐採1年後の水質変化 第128回日本森林学会大会
- 85 岩崎健太 2016年4月 農作物への防風林の効果は古い研究テーマか？ーいま改めて求められる防風林研究ー 北海道森づくり研究成果発表会
- 86 阿部友幸 2016年4月 風倒害リスクを考慮した人工林管理 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 87 岩崎健太、田村慎、真坂一彦、佐藤弘和、佐藤創、山川陽祐、小杉賢一朗 2016年6月 土壌水分計付貫入計と地中レーダーを用いた海岸林の植栽基盤診断 日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会合同研究発表会
- 88 阿部友幸 2016年8月 暴風に対する森林の耐性を推定する 北海道旅客鉄道株式会社土木技術(営林2)科研修
- 89 真坂一彦、福地 稔、佐藤 創、鳥田宏行、阿部友幸、岩崎健太 2016年10月 北海道におけるクロマツ海岸林の動態と密度管理方法 平成28年度日本海岸林学会三沢大会
- 90 真坂一彦、佐藤 創、福地 稔、鳥田宏行、阿部友幸、岩崎健太、佐藤弘和 2016年11月 グイマツ海岸林の密度管理法 第65回北方森林学会大会
- 91 阿部友幸、佐藤 創、佐藤弘和 2017年1月 道東地域における台風による森林被害把握と風倒に強い森づくり 道東・森づくりセミナー
- 92 岩崎健太、鳥田宏行、福地稔、阿部友幸 2017年3月 防風林から牧草地への夜間の暖気流出ー北海道東部の格子状防風林における事例ー 第128回日本森林学会大会
- 93 鳥田宏行 2016年11月 津波による海岸林の被害形態の変化 第65回北方森林学会
- 94 明石信廣・雲野明・渡辺一郎・大野泰之・長坂晶子・長坂有・対馬俊之・山浦悠一・尾崎研一 2016年4月 木材生産と公益的機能の両立を目指した保残伐施業の実証実験 平成28年北海道森づくり研究成果発表会

## 生物多様性に配慮した豊かな森林を保全・維持するための研究開発

- 95 竹内史郎、大野泰之、滝谷美香、石濱宣夫 2016年11月 枝打ち後一年経過したアカエゾマツ人工林における後生枝の発生状況 第65回北方森林学会
- 96 竹内史郎、大野泰之、滝谷美香、石濱宣夫、津田高明 2017年3月 多地点データを使ったアカエゾマツ人工林のY-N曲線の調製 第128回森林学会
- 97 佐藤 創 2016年4月 津波の勢いを和らげる海岸防災林の働きと整備方法 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 98 真坂一彦 2016年4月 シラカンバ防風林におけるゴマダラカミキリによる穿孔被害 平成28年北海道森づくり研究成果発表会



**生活環境の向上のためのみどり資源の活用****身近なみどり資源の活用のための研究開発**

- 99 棚橋生子、真坂一彦、佐藤弘和、福地稔、佐藤孝弘 2016年11月 多雪地域の重粘土地におけるコバノヤマハンノキ植栽木の成長に及ぼす地表処理の効果 第65回北方森林学会大会
- 100 棚橋生子 2016年4月 企業の森づくり ―企業の考え方と実施事例― 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 101 錦織正智 2016年4月 北海道ブランドとなる”たらの芽”生産用タラノキの選抜とクローン増殖技術の開発 平成28年北海道森づくり研究成果発表会

**森林資源の充実と持続的な森林経営による林業の振興****資源管理の高度化のための研究開発**

- 102 滝谷美香・津田高明・大野泰之・来田和人・石濱宣夫・竹内史郎・今 博計・石塚 航・渡辺一郎・八坂通泰 2017年3月 ドマツ人工林個体の根株腐朽発生要因 第128回日本森林学会大会
- 103 Akashi, N., Nitta, N., Ohno, Y. 2016年9月 *Abies sachalinensis* planted forests are important habitats for understory plants. The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, Sapporo
- 104 Ozaki, K., Yamaura, Y., Akashi, N., Unno, A., Tsushima, T., Nagasaka, Y., Nagasaka, A., Inari, N., Sayama, K., Sato, S. 2016年10月 Evaluating the effect of retention forestry in planted forests. IUFRO ALL DIVISION 8 MEETING, Beijing, China
- 105 尾崎研一、庄子 康、明石信廣、佐藤重穂、稲荷尚記 2017年3月 北海道におけるセンサーカメラを用いた山菜利用者動態把握 第128回日本森林学会大会
- 106 雲野明、山浦悠一 2016年9月 保残伐施業(REFRESH):第2セットまでの伐採前後における鳥類相の比較 日本鳥学会2016年度大会
- 107 河村和洋、山浦悠一、雲野明 2017年3月 人工林主伐地での広葉樹の保残は鳥類の害虫捕食サービスにつながるか? ダミーイモムシ設置実験による検証の試み 第128回日本森林学会大会
- 108 山本航平、宮本敏澄、長坂晶子、長坂有、玉井裕、矢島崇 2016年11月 山地溪流の落葉分解に関与する水生不完全菌の種構成に及ぼす硝酸態窒素濃度の影響 第65回北方森林学会
- 109 速水将人、長坂有、長坂晶子、伊藤富子 2016年3月 天然林と人工林の小流域におけるトビケラ群集の特徴 第64回日本生態学会大会
- 110 速水将人、長坂有、長坂晶子、伊藤富子 2016年3月 北海道中央部のドマツ人工林を主体とした小流域のトビケラ群集 第128回日本森林学会大会
- 111 中川昌彦 2016年4月 ドマツ人工林に天然更新している稚樹は皆伐したら育つか? 平成28年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 112 中川昌彦 2016年11月 広葉樹にカラマツが被圧されている天然更新地における中段刈りの効果―上川町における一例― 第65回北方森林学会大会
- 113 大野泰之・滝谷美香・石濱宣夫・竹内史郎 2016年11月 風倒被害を受けた高齢ドマツ人工林における前生樹の成長と死亡 第65回 北方森林学会
- 114 大野泰之・滝谷美香・石濱宣夫・竹内史郎・八坂通泰 2017年3月 北海道中央部に造成されたカラマツ類人工林の7年生までの生育状況 第128回 日本森林学会大会
- 115 渡辺一郎・対馬俊之 2016年11月 保残伐施業(REFRESH)におけるドマツ人工林伐採工程への影響 第65回北方森林学会大会
- 116 渡辺一郎・八坂通泰・対馬俊之・巻口公治・寺島幸弘・山田健・佐々木尚三 2017年3月 小型自走式草刈機の林地導入への可能性 第128回日本森林学会
- 117 今 博計 2016年4月 クリーンラーチ採種園の整備推進の取り組み 平成28年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 118 石塚 航、今 博計、来田和人、黒丸 亮、矢野慶介、田村 明 2016年4月 ドマツ優良種苗の開発―第二世代精英樹候補木の選抜― 平成28年度北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)
- 119 来田和人、今 博計、石塚 航、黒丸 亮 2016年11月 北海道内4か所に造成したクリーンラーチ植栽試験地における5年生までの成長 第65回 北方森林学会
- 120 Ishizuka, W., Kon, H., Kita, K., Kuromaru M. 2016年9月 Evaluating the home-site advantage in *Abies sachalinensis* in Hokkaido, based on the long-term provenance trials *Abies* 2016: The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir

- 121 石塚 航・田畑あずさ・小野清美・福田陽子・原 登志彦 2016年11月 グイマツ葉緑体の完全長ゲノム配列の解読と構造変異の推定 森林遺伝育種学会第5回大会
- 122 石塚 航・田畑あずさ・小野清美・福田陽子・原 登志彦 2017年3月 地理的隔離する北方樹木グイマツ2系統の復元ゲノム情報を用いて 第64回 日本生態学会大会
- 123 上野真義・中村幸乃・小林正明・寺島 伸・石塚 航・内山憲太郎・津村義彦・矢野健太郎・後藤 晋 2016年11月 TodoFirGene: トマツのトランスクリプトームデータベースの構築 森林遺伝育種学会第5回大会
- 124 後藤 晋・石塚 航・種子田春彦・河野優・鐘ヶ江弘美・岩田洋佳・上野真義・内山憲太郎・久本洋子・津山幾太郎・北村系子 2017年3月 トマツの標高適応に関連する生理形質の連鎖解析 第128回 日本森林学会大会
- 125 来田和人・角田真一・今博計・石塚航・原真司・喜綿真一・黒丸亮 2017年3月 クリーンラーチの挿し木増殖方法の改良(I)—環境制御による挿し木台木の成長促進— 第128回 日本森林学会大会
- 126 角田真一・来田和人・今博計・石塚航・原真司・喜綿真一・黒丸亮 2017年3月 クリーンラーチの挿し木増殖方法の改良(II)—環境制御による挿し木苗の効率的生産— 第128回 日本森林学会大会
- 127 八坂通泰・大野泰之 2017年3月 天然林をとりまく現状と課題—資源の育成と有効利用に向けて— 森づくりセミナー
- 128 大野泰之・福地稔 2016年4月 単木に着目したカラマツ人工林の管理方法の提案 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 129 津田高明・渡辺一郎 2016年4月 経済性を指標とする林地団地化範囲の最適化プログラムを作成しました 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 130 蓮井聡・対馬俊之 2016年4月 北海道版森林作業道適正整備支援ソフトver1.0の開発 平成28年北海道森づくり研究成果発表会
- 131 対馬俊之・渡辺一郎 2016年4月 保残伐施業におけるフォワード集材作業 平成28年北海道森づくり研究成果発表会

#### 林業経営の持続的な発展のための研究開発

- 132 M. Takiya, M. Yasaka, K. Umeki 2016年9月 An individual tree growth model for Todo fir ( *Abies sachalinensis* (Fr. Schmidt) Masters ) in Hokkaido, northern Japan. *Abies* 2016 (The 15th international conference on ecology and silviculture of Fir)
- 133 石濱宣夫、大野泰之、滝谷美香、竹内史郎、秋津裕志、大崎久司 2016年11月 胆振地方のカンバ類3種人工林におけるピスフレックの発生実態(予報) 第65回北方森林学会大会
- 134 中田圭亮 2016年9月 エゾヤチネズミの胎盤跡からその出産日を推定できるか 日本哺乳類学会2016年度大会
- 135 明石信廣、雲野 明、南野一博 2017年3月 エゾシカが森林に及ぼす影響を把握する:簡易評価と詳細評価 第64回日本生態学会大会
- 136 明石信廣 2017年3月 エゾシカによる人工林被害レベルの評価指標 第128回日本森林学会大会
- 137 南野一博 2016年9月 エゾシカの誘引餌における嗜好性と地域性 日本哺乳類学会2016年度大会
- 138 Tokuda, S., Onodera, K., Takiya, M., Yasaka, M., Ota, Y. 2016年9月 Incidence and factors influencing root and butt rot in Todo fir stands in Hokkaido, Japan. The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, Sapporo
- 139 太田祐子、徳田佐和子、小野寺賢介、服部 力 2017年3月 トマツ人工林腐朽材から分離された腐朽菌相 第128回日本森林学会大会
- 140 Onodera K, Tokuda S 2016年9月 Advantages of using Todo fir snags for deadwood management in mixed *Abies* plantation-Larix plantation landscapes in Hokkaido, Japan The 15th International Conference on Ecology and Silviculture of Fir, Sapporo
- 141 小野寺賢介、徳田佐和子 2017年3月 カラマツヤツバキクイムシをピネンで誘引できるのか? 第128回日本森林学会大会
- 142 津田高明・寺田文子・八坂通泰・菅野正人 2016年11月 道南地方のスギ人工林における林況と枝下高の関係性 第65回北方森林学会大会
- 143 津田高明・渡辺一郎 2017年3月 直送方式下における素材の用途別出荷距離と林業経営への影響-北海道での事例分析- 第128回日本森林学会大会
- 144 佐藤弘和 2016年4月 集材路において締め固められた土壌の物理性は回復するか? 平成28年北海道森づくり研究成果発表会